



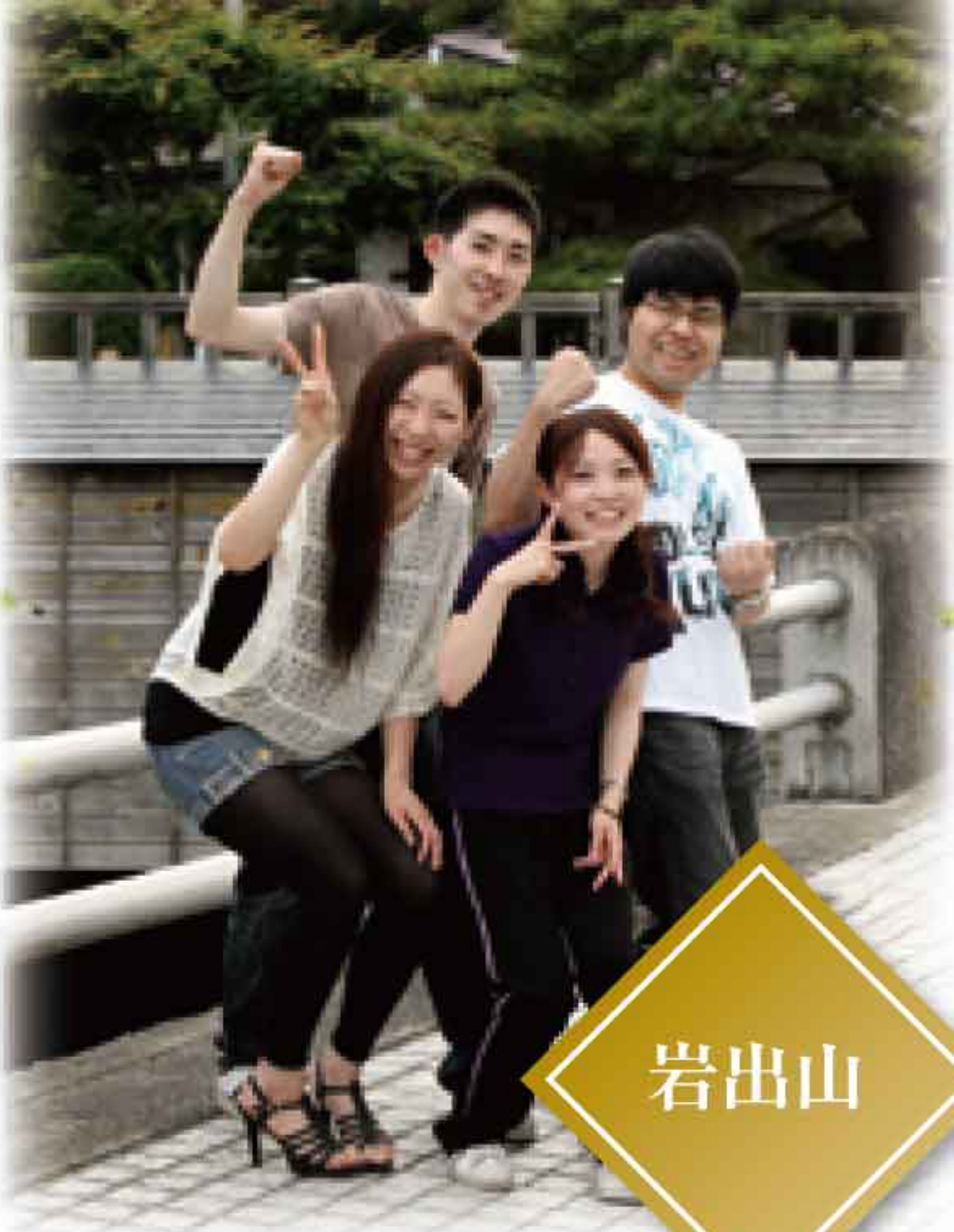
鳴子温泉

「温泉、自然がいっぱい！みんな親切な人ばかりですよ。」
鳴子中学校3年 内藤法幸さん



古川

「思いやりのあるあたたかい人ばかり。食べ物もおいしい！」
古川ミート 佐々木恒輝さん



岩出山

「いつ戻ってきてもおかえりー」とあたたかく迎えてくれます。
社会教育関係団体とむそくやのみなさん



南三陸町

「故郷をなくした私にとって、ここは第二の故郷です。」
東鳴子温泉に避難中の梶原義人さん



鹿島台

「都会過ぎず、田舎過ぎないのが、この町の良いところ。」
富山陽子さん



三本木

「桜、菜の花、ひまわり。花がきれいな町ですよ。」
アクセサリー作家 新田亜紀子さん

大崎市



2011年3月11日。東北・北関東地域の日常が、大きく変わってしまいました。大崎市も大きな被害を受けたことは事実です。

しかしあれから少し時間がたった今、ここは元氣と活気に満ちています。そしてその元氣を少しでもおすそ分けしようと、甚大な津波被害を受けた沿岸地域の方々に、避難のお声掛けをしました。

ここに咲く笑顔は、13万7千人と、ともにふんばる町の方々の笑顔です。そんな、あたたかく、たくましい笑顔が咲く大崎市へ、ぜひお越しください。

「みんな素朴で、

見栄や気張りが無い人ばかり！」
筒井千恵子さん



松山

田尻

「パークゴルフ場に温泉。環境がとても良いですね。」
塩沢とし子さん

東日本大震災後の大崎市

道路や建物の崩壊、ライフラインの停止など、大崎市も大きな被害を受けました。しかし必死の復旧作業により、また穏やかな日常を取り戻すことができました。早くから甚大な被害を受けた宮城県沿岸地域の方を招き、さまざまなイベントや支援に取り組んでいます。



▲復興支援イベントも開催



▲市内の道路の陥没